

今年の秋田市桜の開花予想は4月15日前後のようで、ゴールデンウィークを待たずに満開を迎えそうです。花の季節を前に、2月から3月にかけて、今年度当法人の総決算ともいえる事業が目白押しでした。数ある事業の中から抜粋してご紹介します。



職員総出で朝の雪寄せ



暖冬に慣れてしまった今冬ですが、平成28年2月2日(火)は秋田市内の積雪量が8時現在17cmを越えました。除雪車が作業を終えた後の降雪だったので、職員の人力が必至の朝となりました。遊学舎のロータリー、歩道、昭和館入口と通路、遊学舎側のバス亭等、かなりの範囲の除雪が必要です。しかも開館時間までに作業を終わらせるために、職員総出で除雪作業に追われました。遊学舎の広さを改めて実感させられました。

これまでに実施した事業

遊学舎×CNA(秋田ケーブルテレビ) ホームビデオ撮影基本講座



遊学舎とCNA(秋田ケーブルテレビ)との合同企画で、動画の基本的な撮影方法を学び、活動のPRに役立てようと、1月23日(土)ホームビデオ撮影基本講座が実施されました。講師はCNAの撮影クルーで、座学のあと遊学舎で活動中のサークルさんの様子を実際に撮影し、試写会を行いました。当日は、12名が参加しました。

この講座の対象はNPO・市民活動団体・町内会・サークル等です。ここで学んだノウハウを活かしてそれぞれの団体の活動を撮影し、CNAで放映することを目標にしています。講座・放映とも無料です。

秋田県はつらつシニア発掘事業 「はつらつ交流会」を開催



はつらつシニア発掘事業は、シニア世代が持つ一人一人の得意なことやスキルを、地域に活かしてもらうことを目的とした事業です。これまでワークショップやバスツアーを実施してきました。「はつらつ交流会」では、実際に地域で活動をしている方々をゲストに迎えて、活動のきっかけや現場での話を伺い、楽しみながら情報交換をしました。1月28日（木）と2月23日（火）の2日間で35名の参加がありました。

参加者からは「新たな活動の可能性が見つかりそうだ」「ボランティアをしてきたが、改善点に気づいた」等の感想をいただきました。

現在、県中央地区で活躍する「はつらつシニア」さん（約60件）の情報を冊子にまとめる作業をしていますが、3月中旬に発行する予定です。

プロボノ推進事業

プロボノとは、社会的・公共的な目的のために、自らの専門的なスキルや知識を提供するボランティア活動です。あきたパートナーシップでは、団体の基盤整備に資するために、プロボノを希望する人とプロボノを求めるNPO等とのマッチングを進めています。

今年度は、国際教養大学大学院のグローバルコミュニケーション実践研究科学生とNPO法人あきたスギッチファンドとをマッチング。学生12名が、あきたスギッチファンドのホームページの改善にプロボノとして取り組んでくださいました。法人のイメージやミッション、事業内容など多岐にわたって聞き取り調査、その後ホームページの改善点、理想的なホームページのイメージ、若者層の心をつかむ画面、キャッチコピーなどについて提案してくれました。

学生たちの意見を入れて作成したホームページ案を、もっと広く一般の目で検討してもらいたいという考えから、今度は専門家にプロボノとして意見を聞くことにしました。行政書士、NPO法人の総務企画担当者、システムエンジニアの方と1月・2月と検討会を開催しました。

あきたスギッチファンドでは、近くこれらの提案を入れてホームページの改善を実施することにしています。



NPO・ボランティア支援講座Ⅱ 市民活動のためのプレゼンテーションセミナー



3月6日（日）遊学舎にて、「市民活動のためのプレゼンテーションセミナー」を開催しました。当日は、すでに様々な活動に取り組んでいるNPO法人の方やこれから市民活動を始めたいと考えている方など、16名の参加がありました。初めに、講師の畠山副理事長より、NPOのプレゼンテーションについて重要なポイントなど、スギッチファンドの審査会でのエピソードを交えながら講義を行いました。その後、講義の内容を踏まえながら、参加者にこれから取り組みたいことについて、3分間でプレゼンテーションをしてもらい、互いに感想や良かった点などをアドバイスしました。

NPOにとって、“活動内容”や“思い”を人に伝えるということは、必要不可欠です。このようなセミナーを通じて、今後もNPOの基盤強化をサポートしていきたいと思っています。